

令和6年度事業計画

○ 新潟市歴史博物館及び旧新潟税関庁舎等

1 文化事業

「新潟市域の歴史的特性を明らかにし、市民の歴史に対する理解を深めると共に、歴史を媒介とした市民交流を行うことにより、市民の社会的活動及び文化的活動に寄与する。」という博物館の設置目的を達成するため以下の各種事業を行う。

(1) 展示運営更新

常設展示室の通年公開・運営に加え、当展示室の部分展示替え等により情報内容を更新する。

(2) 企画展示事業

興味深いテーマを設定し、地域の歴史・文化を楽しく分かりやすく市民に伝える展示を行う。本年度は指定管理事業として以下の4本の企画展を開催する。

① 「北前船と新潟」展

開催期間 令和6年7月27日～9月1日 33日間

新潟市は北前船を主題とした日本遺産「荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間～北前船寄港地・船主集落～」の構成自治体である。北前船は江戸時代から明治時代にかけて、現在の北海道から大阪間の日本海航路において国内流通の一翼を担い、新潟をはじめ航路上の港町を大いに活気づけていった。本展は北前船と新潟の関係を語る資料を紹介し、日本海海運の歴史を紐解く。

また、関連事業として市内に残る「北前船」関連文化財などをめぐるとともに、河川交通や古町芸妓の鑑賞などを盛り込んだ体験型イベントを開催する。

② 第21回むかしのくらし展「くらしの環境（仮）」

開催期間 令和6年9月14日～12月1日 67日間

新潟市域は多様な環境を有し、人々はさまざまな形で自然を利用して生活を営んできた。生活を支える社会・経済基盤の整備や産業の発展に伴い、くらしにおける人々と環境の関わりも変化してきた。市域の人々が営んできたくらしを、環境という視点から振り返る。

③ 収蔵品展・新収蔵品展

同時開催「新令和版 弘長寺二十五菩薩来迎図」展

開催期間 令和6年12月14日～令和7年1月26日 32日間

テーマを設けて館が収蔵する資料を紹介する収蔵品展と、令和6年度に新たに受け入れた資料を紹介する新収蔵品展を開催する。同時開催では、日本画家、永吉秀司氏が手がけた「弘長寺壁画プロジェクト」（関川村）を紹介し、画家の地域貢献や新たな文化財修復方法を提唱する。

④ 「石川侃斎」展

開催期間 令和7年2月8日～3月30日 42日間

江戸時代後期に活躍した新潟町の絵師 石川侃斎の本格的な山水画から、のどかな文人

たちの理想の姿を描いたものまで、新潟の人々に愛され伝えられてきたそれらの作品から彼の画業を探ります。

⑤ その他

次年度に開催予定の企画展の準備を行う。(印刷物の作成等)

(3) 教育普及事業

新潟市の歴史文化への市民の関心や興味のニーズに対応するため、ボランティアなどの人やモノ、情報などの資源を活用して、市民へ歴史に関するさまざまなサービスを提供したり、学校等の教育活動を提案したりするとともに、レファレンス用開架図書を追加する。

① 体験の広場事業

小学生や家族連れを主な対象として、「つかう」、「しらべる」、「つくる」という機能を持つ、3つの広場「昔のくらしに触れる場」、「情報学習の場」、「創作活動の場」での体験プログラムを、土・日・祝日を中心に年50回程度開催する。

また、夏休み向けの体験や大人を対象とした体験プログラムなど、対象を設定した体験プログラムも織り交ぜて行う。

② 博・学連携事業

小学校・中学校の見学に際し展示解説等の対応を行うとともに、新潟大学と連携して当館学芸員の寄附講義や大学生の実習受入れを行う。学校のニーズに応じて出前授業にも対応する。また博物館ホームページに新しいコンテンツ制作を予定。

③ 講座事業

調査研究事業の成果を公開し、新潟の歴史や文化に関する「学び」や「楽しみ」を提案するため、幅広い年齢層や個別のニーズに対応する以下の各種講座を開催する。

- ・博物館講座 年10回(1月、3月を除く各月の第4日曜日、6月第5日曜日)
- ・館長講座 全4回程度(開催日調整中)
- ・歴史講座「浜・潟・山の歴史とくらし」 全4回(開催日調整中)

④ ボランティア事業

常設展示解説、敷地解説、体験の広場プログラムでのボランティア活動を支援するとともに、館の顔としてスキルアップを図る。またボランティア活動への新規希望者に向けた研修を行う。

(4) 施設普及事業

博物館の活動を広く市民に知ってもらうため、リーフレットや「博物館ニュース」などの出版物を作成し、新聞・雑誌等を通じて館の広報活動を行うとともに、以下の事業を実施し、博物館の利用推進を図る。

① 地域連携

地元市民団体と共催し、博物館を会場に野外コンサートや夏祭りなどのイベントを開催する。

② みなとぴあファンクラブ

「みなとぴあファンクラブ」会員を対象とした事業を行う。講演会や企画展鑑賞会、史跡探訪ツアーや新潟市内の街歩きなどを開催する。

(5) 調査研究事業

市民の関心を呼び起こすテーマの探求や博物館活動の発展のために、調査研究活動を行う。当館の基本テーマである「湊と湊町」「低湿地の暮らし」に合わせた調査・研究を基本とし、そのほか学芸員が各自のテーマで調査・研究を実施する。そうした成果を博物館講座等で市民に報告するとともに、研究紀要として刊行する。

(6) 資料整理事業

寄贈や購入などにより受け入れた歴史・民俗・美術・図書等の資料を長期的に保存・活用することを目的に、以下の事業を行う。

① 保存環境管理

歴史資料を長期保存するための資料保全・環境整備。

新規収集資料の燻蒸・殺虫処置や、博物館収蔵庫・石庫・新潟市文化財センター・旧木場小学校等に所蔵する資料を、よりよい状況で保存するための IPM をはじめとする資料保存環境の管理に努める。

② 資料収集整理

地域の歴史資料を収集するとともに、資料を保存管理するための基礎的データや資料活用するための資料情報を調査・記録し、データベース化する整理作業を行う。併せて、資料の保存のためのクリーニング・養生などの処置を行う。

(7) 自主事業「みなとぴあ歴史発見プロジェクト」

令和3年度から再スタートした自主事業で、こどもからおとなまで幅広く、みなとまち新潟の歴史に親しみ、自ら歴史を発見する喜びを知ってもらい、新潟の街をみんなで盛り上げていこうというもの。事業実施に当たり、地域の企業・団体から協賛金をいただくなど自主財源を確保し、以下の事業を行う。

① 企画展

「新潟美人と花街」展

開催期間 令和6年4月13日～6月9日 51日間

新潟美人とは江戸時代から続く湊町新潟の遊女や芸妓を指す言葉で、広く評判を得た彼女たちは、地域ブランドとして湊町の発展を背後から支える存在でもあった。新潟美人と呼ばれた女性たちとその舞台となった花街について紹介する。

② 古文書解読上達講座

古文書学習の経験者を対象にした古文書の上達講座。

毎月第4水曜日に実施予定 全10回 定員60人

③ みなとぴあこども歴史クラブ

小学生を対象に、古代から現代にいたる人々の暮らしの一端を体験用にプログラム化し、体験を通じて歴史を身近に感じ、かつての暮らしの知恵や文化財保護を考えるきっかけとする。

毎月第3日曜日に実施 全11回 20人程度募集

④ 大人の体験プログラム

大人が楽しめる歴史・文化にかかわる体験イベントを企画・実施する。

⑤ 特別講演会

新潟市の枠を超えた歴史をテーマとする講演会を企画・開催する。

⑥ 古町学

旧新潟町エリアを学びの場とし、市民参加によって歴史・文化・魅力を掘り起こす地域学として継続実施する。

2 文化施設管理受託事業

歴史博物館及び旧新潟税関庁舎等管理事業

市民に親しまれる博物館を目指して、利用者へのサービスの向上に努め、歴史博物館及び旧新潟税関庁舎等に加え、信濃川左岸緑地の管理運営を行う。

(1) 歴史博物館管理事業

- ① 博物館本館（常設展示室、企画展示室、ミュージアムシアター、体験の広場、セミナー室、情報ライブラリー等）
- ② 旧第四銀行住吉町支店（応接室、会議室、日本間）
- ③ 屋外施設（広場、堀、園路等）

(2) 旧新潟税関庁舎等管理事業

- ① 旧新潟税関庁舎
- ② 史跡（石段、石積み、石庫等）

(3) 信濃川左岸緑地管理事業

3 付帯事業

来館者に対するサービスの充実を目的に、歴史に関する書籍やグッズ類を扱ったショップの運営や自動販売機の設置を行う。

- ① 物販等ショップの運営
- ② 自動販売機の設置